

海洋環境国際シンポジウムみんなの海国際会議vol.3開催等業務 説明会資料

R8.10.9
脱炭素社会推進課

事業の目的

海洋プラスチック問題の解決に向け、国内外の研究者、企業、行政機関、教育機関、NPO等が一堂に会し、取組や研究成果を共有するとともに、専門的な知見の交換や新たな連携の創出を図る。

また、世界海洋プラスチックプランニングセンター「PLA PLA」を拠点として、佐賀県の実組を国内外へ発信し、海洋プラスチック問題の解決に向けた機運醸成と行動変容を促す。

本業務で受託事業者を求めること

- ・国際会議運営の円滑な運営
- ・登壇者等の宿泊・移動に係るロジスティクス全体を管理
- ・海外研究者等への適切な対応
- ・PLA PLAの魅力発信
- ・安全かつ効果的な会議運営

予算額

10,000千円(消費税及び地方消費税を含む。)を上限とする。

※登壇者等への謝金及び旅費300万円程度含む。

全体概要

準備スケジュール

- 10月 事業者決定
- 11月 登壇者との各種調整、案内文通知、開催準備
ポスターセッション募集開始
- 12月 一般参加者募集開始(プレスリリース)、広報
- 1月 シンポジウム開催

シンポジウムスケジュール

1月29日(土)

13:00-17:30 シンポジウム(唐津シーサイドホテル)

17:45-19:00 レセプション(//)

1月30日(日)

10:00-11:45 ビーチクリーンアップ(波戸岬)

11:45-12:00 ポスターセッション(PLA PLA)

参考情報

1月25日から28日にかけて、IMDOS委員会およびシンポジウムが福岡で開催(九州大学主催)。

※29日朝、福岡⇒佐賀に移動

当県の今回のシンポジウムは九州大学との連携により、IMDOS等海外関係者に参加・登壇をいただく見込み。

※関係者の登壇等の選定、招へいに係る費用分担等に関しては県が九州大学およびIMDOSと調整中

受託業者でロジ等の調整をいただく登壇者等のリスト(名簿・連絡先等)は県から提供。

1日目(シンポジウム)概要

タイムテーブル(案)

時刻	区分	所要	登壇者
13:00	主催者挨拶	10分	佐賀県民環境部長 諸岡泰輔氏／大嶋(PLAPLAセンター長)
13:10	基調講演①	20分	環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海洋プラスチック汚染対策室
13:30	基調講演②	25分	IMDOS代表者
13:55	セッション1 モニタリング	80分	モデレーター 1名 登壇者 7名 各10分＋導入10分。県版60分から80分に拡大。
15:15	休憩	10分	—
15:25	セッション2 水産との連帯	30分	PLAPLAセンター長／九州大学 ＋ 2名 各10分。「出る → 回収する → 資源に変える」の 一本の流れにする
15:55	セッション3 社会との連帯 —環境教育・市民活動	30分	3名(各9分) ※リレー形式
16:25	休憩	10分	—
16:35	クロストーク	55分	コーディネーター 1名 県代表者、大使館総領事館 3名程度
17:45- 19:00	交流会	75分	呼子・唐津の食材

会場:唐津シーサイドホテル

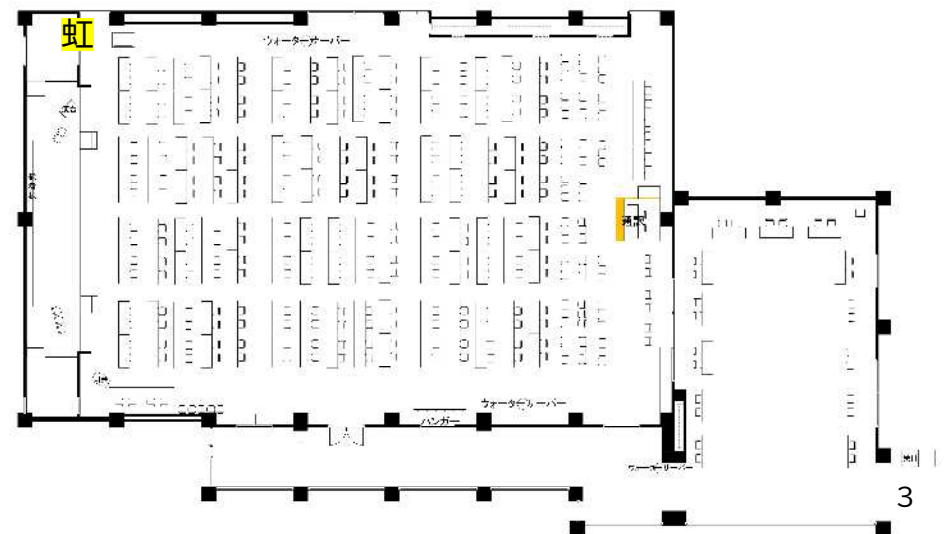
県にて仮押え中

- ・虹 シンポジウム会場
- ・羽衣 レセプション会場
- ・控室

その他

- ①シンポジウム会場(虹)横のスペースで関係団体等の展示を実施。
テーブル・椅子等の手配を設置すること。
- ②各発表に関しては記録(画像・文字)し、後日レポートを作成すること。
- ③同時通訳用のブースはシンポジウム会場には無いため、
必要に応じて設置すること。
- ④IMDOS等海外関係者の昼食(ブッフェ)40名分を手配すること。

【参考】



1日目(レセプション)概要

タイムテーブル(案)

時刻	区分	所要	登壇者
17:45	主催者挨拶	5分	佐賀県
17:50	乾杯	5分	後日調整
17:55 ～	歓談		
18:25	休憩	10分	—
18:55	閉会挨拶	5分	後日調整
19:00	閉会		

料理・飲み物

唐津をはじめ、佐賀県産の食材を中心に提供すること。

宗教・アレルギー対応を考慮して、使用する食材の表示を表示すること。その際に、海外からの参加者にもわかりやすくすること。

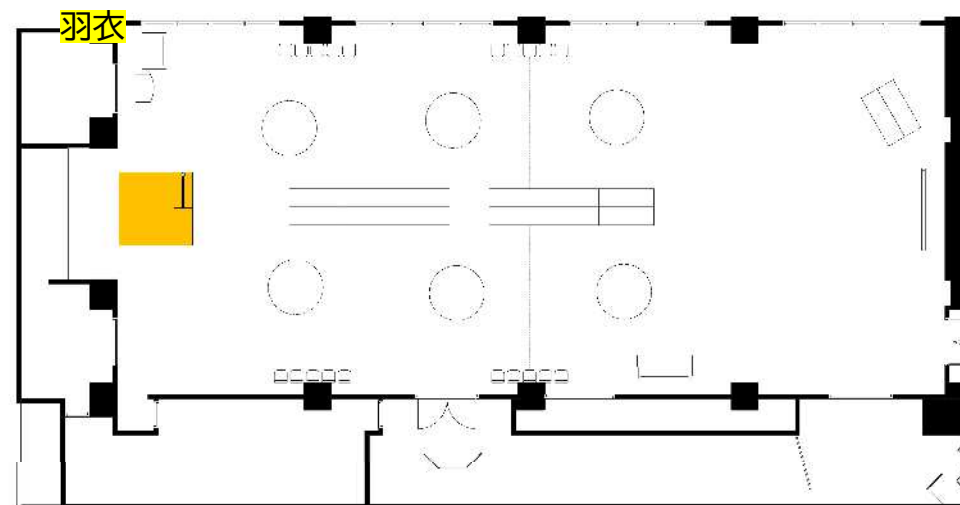
出し物等

関係者による出し物(発表等)の希望があった際に検討する可能性があるため、スクリーン、プロジェクター、音響等の準備をすること。

参加費用

出席者(登壇者等招へいにより参加する者を除く)から飲食に係る費用の一部を参加費用として徴収すること。

【参考】



2日目(ビーチクリーン)概要

タイムテーブル(案)

時刻	内容	所要	担当
10:00-10:10	開会・オリエンテーション	10分	安全ブリーフィング・班分け・記録用紙の配布。 司会:高校生(県から依頼予定)
10:10-10:30	レクチャー「海岸のごみをどう数えるか」	20分	IMDOS 世界の海岸ごみモニタリングの標準手順(ICC調査様式との対応)を、これから自分たちがやる作業として説明する。 逐次通訳+日本語の記録用紙で補う
10:30-11:45	波戸岬 ビーチクリーン+ICC調査(実行)	75分	全員参加。 IMDOS参加者は各班に分かれて一緒に拾い、数え方を現場で助言する 記録はプレ観測(2026年12月)と同じ様式・同じ記録ID方式を用い、時系列の2点目とする ※1月末の屋外作業。防寒・トイレ・休憩場所の確保と、高齢者・小中学生への配慮が要る。 荒天時は屋内で顕微鏡観察+分類作業に差し替え

参加者

50~100名程度を想定

調整等

・関係者との調整は県が主体となってい、県の指示に従って必要な資料、備品等の準備を行うこと。

<想定される準備物等>

- ・記録用紙
- ・ビーチクリーニンググッズ(軍手、トング)
 - ※回収袋は唐津市にボランティア用ゴミ袋を提供依頼予定
- ・ボランティア保険への加入
- ・救急箱

2日目(ポスターセッション)概要

タイムテーブル(案)

時刻	内容	所要	担当・備考
11:45-12:45	昼食・ポスター掲示・自由観覧	60分	希望者向けに、波戸岬大気観測サイト見学(15分程度・数回まわす)
12:45-13:15	ポスター発表 フラッシュトーク	30分	1件1分。 区分は ①ビーチクリーン活動団体(NPO)②高校生 ③研究室(大学・研究機関) 司会:高校生(県から依頼予定)
13:15-14:35	ポスター発表 コアタイム	80分	IMDOS参加者が全ポスターを巡回してコメント。 参加者投票はこの時間内に締め切る
14:35-14:55	PLAPLA賞 選考	20分	審査員(1日目登壇者+IMDOS参加者)が別室で協議、並行して参加者投票を集計 参加者は相互議論・休憩・ポスター撤収・記念撮影の準備に充てる
14:55-15:20	PLAPLA賞 授与式	25分	市民部門(ビーチクリーン活動団体)／高校生部門／研究部門の3部門を想定。参加者投票+審査員選 受賞者が壇上にいる状態のまま次のまとめに入る
15:20-15:50	まとめ 記念撮影	30分	その日の観測結果の速報(拾った量・組成)を発表 受賞者・参加団体・高校生・IMDOS参加者が壇上に揃った状態で記念撮影
15:50-16:00	閉会	10分	—

その他

・午前中のビーチクリーンイベントも含め、研究者や関係企業・団体等のみならず、地元住民や学生等も参加したくなる仕掛けを検討すること。

・PLAPLAの借り上げ費用が発生(仮押さえ済み)

参加者

計100名程度を想定(出入り自由)

調整等

- ・ポスターの募集、応募者との調整は受託事業者にて行うこと。
- ・県の指示に従って必要な資料、備品等の準備を行うこと。

<想定される準備物等>

- ・ポスター(A0サイズ印刷+館内展示)
※ポスターは20件程度の展示を想定
※展示場所はPLA PLA展示ラボ内
※和⇄英翻訳作業が必要
- ・テーブル、いす(PLA PLA備品を活用可)
- ・軽食(地元事業者やPLA PLAカフェとの連携も考慮すること)
- ・通訳2-3名配置を想定すること
- ・司会1名を手配すること



交通・宿泊

バスの手配

①IMDOS関係者等用大型バス(40名程度を想定)

1/29AM 福岡(博多駅周辺を想定)→唐津シーサイドホテル→宿泊先

1/30AM 唐津市内ホテル→波戸岬

PM 波戸岬→福岡(福岡空港、博多駅周辺)

②その他来場者用バス

1/30 唐津市内→波戸岬(IMDOS関係者バスとの併用も可)(片道1回)

波戸岬→唐津市内(片道1回)

ホテルの手配

1/29から1泊にて40部屋程度(1人1部屋)を確保すること(唐津市内)

バスの運行に配慮して、宿泊場所は可能な限り1か所にてまとめること

IMDOS関係者等への旅費の支払い (合計300万円程度)

復路航空券代 10名程度分

IMDOS関係者数名分の1/30分のホテル(支払いのみ)

※フライトの都合により宿泊される場合

IMDOS関係者(航空券・宿泊費の負担をする方)へは

後日各指定の口座に送金すること。

※旅費の算定は県にて行う。

広報・その他

広報 事前告知チラシ(日・英) 当日次第(日・英)

企業、行政機関、教育機関、NPO等広く参加してもらうよう工夫すること。

(参考) 第1回(日)第2回(英)チラシ

海洋環境国際シンポジウム
みんなの海 国際会議
2025.1.30 Thu - 1.31 Fri
唐津シーサイドホテル、波戸岬海浜公園

佐賀の岬から
世界の海を取り戻そう

世界海洋プラスチックセンター(国連)の設置を前に、国際的にも、プラスチック汚染に関する条約制定の動きがあるこのタイミングで、唐津五海エリアの海洋プラスチック問題の現状や佐賀県の取組を世界に発信し、国内外の関係者とのネットワークを構築するための国際シンポジウムを開催します。

1.30 Thu 10:00-17:40 国際シンポジウム
18:00- レセプション
1.31 Fri 10:00-12:00 プールサイドライブ
シンポジウム参加者は20名からスタートしていきなす。

【基調講演】
水谷 邦子 (環境省 水・大気環境政策 海洋政策課)
高田 真一 (国連環境計画)

Session 1: 海洋プラスチックの廃棄をどう〜モニタリング〜
パネラー 堀江 真由 (九州大学、海洋学専攻)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)

Session 2: 海洋プラスチックの生物に与える影響
パネラー 丸橋 健治 (九州大学、海洋学専攻)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)

Session 3: 海洋プラスチック問題と市民社会
パネラー 中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)

Session 4: 現場(地元)からの報告
パネラー 中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)
中川 幸一 (フジテレビジョン、環境報道番組「サレーン」)

International Symposium on Ocean Environment
: Our Ocean International Conference Vol. 2

Date: October 20 - 21, 2025 (Mon - Tue)

20 (Mon) 10:00 AM - 12:00 PM: Excursion
2:00 PM - 5:00 PM: Keynote Lecture & Cross Talk
5:30 PM - 7:30 PM: Reception
21 (Tue) 9:40 AM - 5:00 PM: Symposium
Venue: Karatsu Seaside Hotel, Karatsu City, Saga



Participants: Approximately 200 people, including:
Domestic and international researchers, Government officials, International organizations,
Local and national administrative officials, Corporate representatives and local participants from
Karatsu City and Genkai Town, local NPOs, and high school students.

Program Highlights:

- Keynote Lecture
- Cross Talk: Sharing thoughts on solving marine plastic issues and messages for future generations
- Symposium (tentative program):

Session 1: Impacts of Marine Plastics on Marine Life and the Expected Contributions of the Center
Session 2: Marine Plastic Recycling and Collaboration with Academic and Research Institutions
Session 3: Experiences, Behavioral Change, and Promotion of Civic Engagement
Session 4: Ocean Education and the Center

This international symposium aims to explore the potential of the center and strategies for collaboration with experts from various fields, with the goal of restoring rich and beautiful oceans free from marine plastics.

Organizer: Saga Prefectural Government
Supported by Ministry of Foreign Affairs and Ministry of the Environment, Japan
In cooperation with: Karatsu City, Genkai Town, Sasakawa Peace Foundation Ocean Policy Research Institute

翻訳等 資料や展示物等の日⇄英翻訳の体制をとること。

記録 スチール : 両日1台手配
発表内容等: 文字起こし、および、発表用レポートの作成
アンケート : 両日参加者へのアンケートを実施し、集計
※内容は県と協議

来場者管理

1日目、2日目ともに事前参加申込(オンライン)受付の運用・管理を行うこと。